

ねじょうたてあと
根城館跡

- ◇ 指定日 昭和31年4月11日
- ◇ 所在地 老木
- ◇ 所有者 地区共有

根城館跡は、^{ろうき}老木の集落を見下ろす標高約100mの山の上にあります。約600年以上前の鎌倉時代に^{へい}閉伊氏によって築かれた館跡といわれています。

館跡は、^{いくさ}戦や争いなど緊迫した状況のときに立て籠もる山城のような役割をもっていたと考えられ、敵から身を守るための^{からばり}空堀の跡が今でも確認することができます。

山の頂上には城の中心である「^{しゅかく}主郭」といわれている^{ひらば}平場があり、現在は八幡神社が建っています。さらに主郭の下段にはいくつもの平場がみられ、尾根の先端には物見のための^{とりで}砦のような地形がみられます。



平場(平らな部分)の跡